

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、低め～やや低めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣—スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり132kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり7.4トンの水揚げで、前週2.3倍（前年並み）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.3kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり5kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 定置網—五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり557kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり81kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり55kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、イサキが1日当たり265kgの水揚げで、前週の3.4倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり15kgの水揚げで前週並み（前年並み）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/5～3/9の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延6隻、総計68箱、1航海最高24箱、平均11.3箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-8号 五島灘・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>